

1. JIS A 5308 レディーミクストコンクリートの適用範囲

2. JIS A 5308 改正事業の概要

3. JIS A 5308 改正原案作成委員会 委員構成

4. 主な改正事項とその要点

(1) 改正の趣旨

(2) 2019年版 本体目次の対比

(3) 2019年版 附属書目次の対比

(4) 2019年版 本体目次の見出し改正部分

5. 主な改正事項の詳細

(1)用語及び定義(箇条3)

(2)種類, 区分及び製品の呼び方(箇条4)

1)高強度コンクリートの種類及び区分

2)普通コンクリートの種類及び区分

(3)普通コンクリートの管理項目改正内容

1)品質(スランプ^oフロー追加、許容差)

2)配合(箇条7:スランプ^oフロー)

3)試験方法(箇条10. 4:スランプ^oフロー)

(4)材料(箇条8)

1)混和材料(砕石粉の追加)

(5) 試験方法

- 1) 圧縮強度(精度の確認された型枠)
- 2) 曲げ強度(精度の確認された型枠)
- 3) 圧縮及び曲げ強度用供試体の水中養生
($20 \pm 2^{\circ}\text{C}$)
- 4) スラップフロー(材料分離の有無を目視確認)
- 5) スラップフローの状況比較(全景・周辺部)

(6) 報告

- 1) レディーミクストコンクリート配合計画書
 - ・ 指定事項(必須・任意の区別)
 - ・ 骨材、混和材の記入欄増減可
 - ・ 安定化スラッジ水の使用有無
 - ・ 運搬時間の限度変更時の記載
 - ・ 混和材を結合材とする場合の記載方法

2)レディーミクストコンクリート納品書

- ・水セメント比及び水結合材比の記入方法
- ・安定化スラッジ水の使用有無の記載欄追加

(7) 付属書

1) 付属書A 骨材の塩化物量試験方法

- ・指示薬の変更
- ・試験方法の追加

2) 付属書C 練り混ぜに用いる水

- ・C.3 用語及び定義（主要用語の移動）
- ・C.8 セメント凝結試験の差の試験（5分単位）
- ・C.8 モルタルの圧縮強さの比の試験
（外部試験機関の定義改正、中小企業
近代化促進法の廃止による実態整合）

- 3) 附属書D・F・G 安定剤
 - ・附属書構成の見直し(安定化スラッジの使用方法的規格化による)
- 4) 附属書D 安定剤の品質及び試験方法 : 新設
(附属書として独立)
- 5) 附属書F アジテータ付着モルタルの使用方法的
(附属書D 引用)
- 6) 附属書G 安定化スラッジの使用方法的 : 新設
 - ・安定剤の使用方法的の例
 - ・安定化スラッジ水に係る留意点

※詳細は日本規格協会発行のJIS規格票をご覧ください。